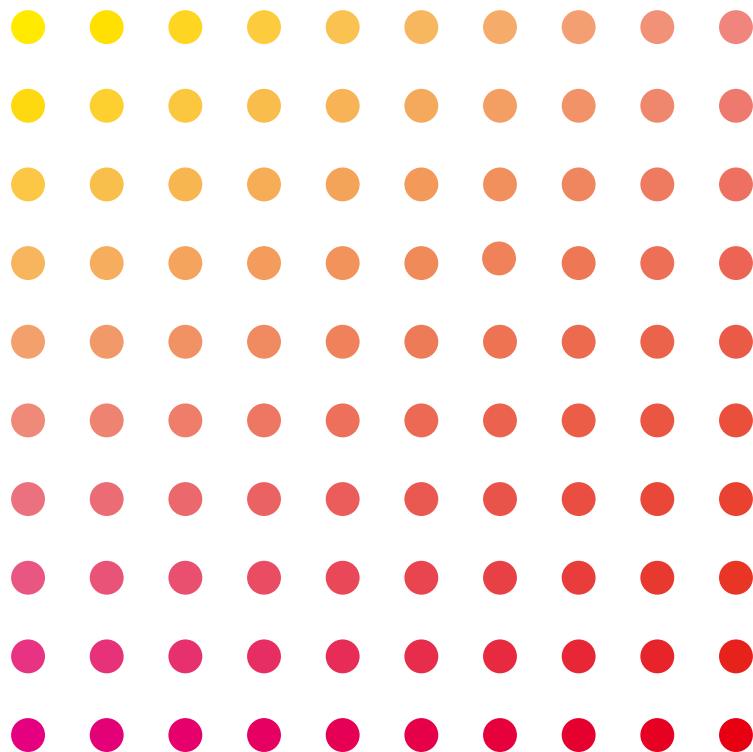


株主通信

平成27年3月期(第55期)

第2四半期

[証券コード: 7908]



KIMOTO の コア技術



表面加工技術

ポリエステルフィルムをはじめとする基材に、さまざまな機能を実現する技術です。多様化するニーズに対応するために積極的な製品開発を進めるとともに、クリーン環境下でのコーティング技術や品質管理の向上等に注力しております。



画像処理技術

創業以来培ってきた地図の複製および編纂技術を活かし、デジタルデータの解析や加工編集、管理・運用システムの開発を提供。高い品質と信頼性で実現します。





「KIMOTO杯日米少年野球大会」を開催

2006年から開催している少年野球大会「KIMOTO杯」。第10回大会を迎えたことを記念し、当社北米工場があるジョージア州シダータウン市に三重県いなべ市の子どもたちを招待し、アメリカの少年野球チームと日米親善試合を行いました。本場アメリカで野球をするという夢の実現と共に、野球を通じて言葉・文化・距離を超えた国際交流を行い、将来につながる友情を築きました。



「実りの百年米」を収穫

いなべ市の休耕地をお借りし農地として再生、地元の人たちと協力して地域の活性化を図ろうという「きもとファーム」プロジェクト。

2014年は、106俵のお米を収穫することができました。

今後も地域の皆さまと共に地域の発展に向けた取り組みを行っていきます。



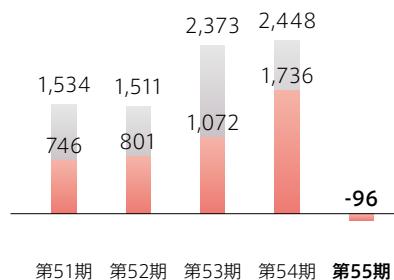
決算ハイライト [連結]

第2四半期 ■ 通期 ■ 単位:百万円

売上高



営業利益 又は 営業損失



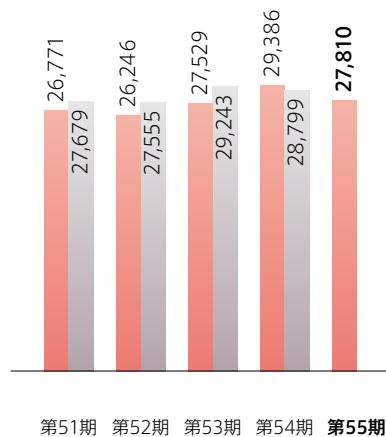
経常利益 又は 経常損失



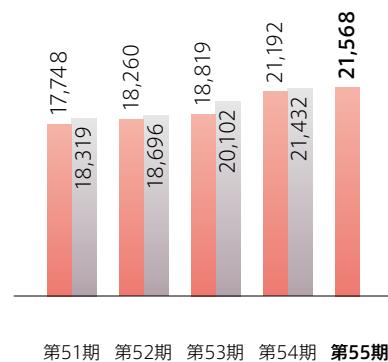
純利益 又は 純損失



総資産



純資産



株主の皆様には益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

平成27年3月期第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日から9月30日まで)の決算をご報告申し上げます。

当社グループは、タッチパネル用ハードコートフィルムを中心としたフラットパネルディスプレイ向け製品を戦略製品と位置付け、その開発と販売に注力してまいりました。営業面においては、エレクトロニクス製品の世界的な製造拠点である東アジア地域をターゲットとして、積極的に営業を進めてまいりました。また、中国の蘇州及び米国のサンフランシスコに拠点(グローバルオフィス)を開設し、新市場・新製品開発を推進しております。グループを挙げた経費削減を継続し、経営効率のさらなる改善に努めてまいります。

スマートフォン、タブレットPC向けタッチパネル用ハードコートフィルムの販売及び工程用粘着フィルムの販売が急激に減少したことにより減収減益となりました。この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は8,647百万円(前年同四半期比25.0%減)、営業損失は96百万円(前年同四半期の営業利益は1,736百万円)、経常利益は44百万円(前年同四半期比97.5%減)、四半期純利益は0百万円(同99.9%減)となりました。

社長就任以来、全社一丸となって社内ワークフロー改革を推進し、体質の改善を図って参りました。新規事業の創出と相まって上昇準備完了と位置づけ本事業年度をスタートいたしました。既にお知らせしておりますようにご期待にお応えすることができず、株主の皆様にはご心配とご迷惑をおかけし誠に申し訳ございませんでした。改めてお詫び申し上げます。

新たな目標の達成に向け、現在取り組み中の主な施策は、FPD関連製品の営業の強化、海外関連会社の早期黒字化、地理情報関連ビジネスの発展強化、FPD関連製品以外の新製品の上市、そして新たなビジネスとしてコミュニケーションデザイン事業を進めております。

申し遅れましたが、去る10月30日に発生した三重第四工場の火災事故に関し多大なご心配をおかけしましたことを心からお詫び申し上げます。総力を挙げて対応を進めて参りました結果、11月14日より完全復旧を果たすことができましたことを謹んでご報告申し上げます。

2011年から社会貢献の一環としてはじめた耕作放棄地を借り受けて水田として再生する「きもとファーム」、4年目を向かえた本年は106俵を収穫しました。

これからも、持続可能な社会の実現に向け、地域と融和し共に発展し末永くお付き合いいただける魅力ある企業を目指してまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



代表取締役社長
木本 和伸

セグメント別概況

日本

スマートフォン、タブレットPC向けタッチパネル用ハードコートフィルムの販売及び工程用粘着フィルムの販売が急激に減少したことにより減収減益となりました。

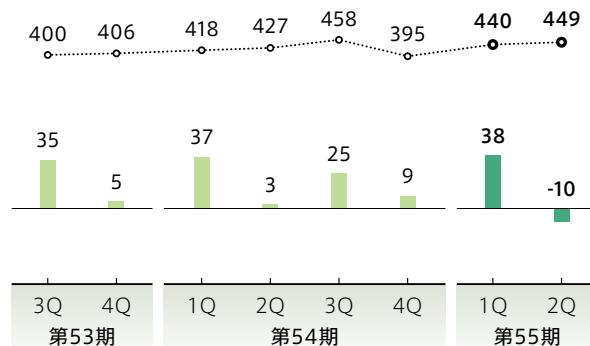
この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は7,356百万円(前年同四半期比28.8%減)、営業損失は129百万円(前年同四半期の営業利益は1,724百万円)となりました。



北米

タッチデバイス保護用ハードコートフィルムの販売は堅調に推移しましたが、その他北米工場での製造品の販売が減少したことにより、増収減益となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は889百万円(前年同四半期比5.3%増)、営業利益は28百万円(同31.6%減)となりました。

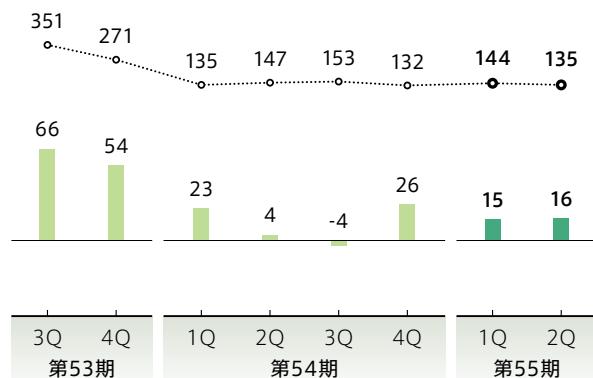


売上高 ○●●● 営業利益 ■ 単位:百万円

東アジア

FPD-5製品(Flat Panel Display5品目)の中では、プリント基板用フォトマスク保護フィルムの販売が減少したことから減収となりましたが、工程用粘着フィルムの販売が製造業向け副資材として堅調に推移したことにより増益となりました。

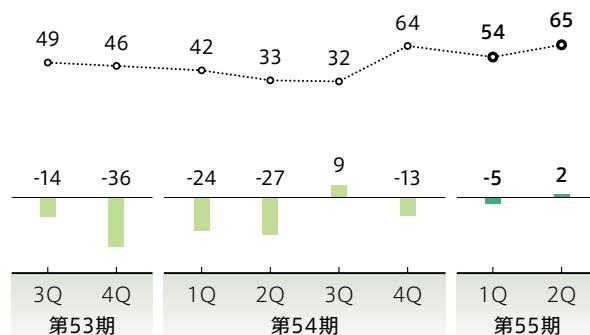
これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は280百万円(前年同四半期比1.0%減)、営業利益は31百万円(同14.9%増)となりました。



欧州

FPD-5製品の販売がハードコートフィルムを中心に堅調に推移したことにより増収となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は120百万円(前年同四半期比57.4%増)、営業損失は3百万円(前年同四半期の営業損失は51百万円)となりました。



連結財務諸表

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

連結貸借対照表

[百万円]

科目名称	当第2四半期末 平成26年9月30日現在	前期末 平成26年3月31日現在
資産の部		
流動資産	19,124	20,184
現金及び預金	12,152	12,711
受取手形及び売掛金	4,508	5,198
商品及び製品	749	662
仕掛品	647	752
原材料及び貯蔵品	741	529
繰延税金資産	256	244
その他	124	145
貸倒引当金	△55	△61
固定資産	8,685	8,614
有形固定資産	6,161	6,345
建物及び構築物(純額)	3,013	3,131
機械装置及び運搬具(純額)	2,072	1,797
土地	794	794
建設仮勘定	19	321
その他(純額)	262	299
無形固定資産	151	137
ソフトウェア	77	71
その他	73	65
投資その他の資産	2,372	2,132
投資有価証券	1,420	1,324
その他	1,130	972
貸倒引当金	△178	△163
資産合計	27,810	28,799

科目名称	当第2四半期末 平成26年9月30日現在	前期末 平成26年3月31日現在
負債の部		
流動負債	4,209	4,992
支払手形及び買掛金	2,939	2,695
1年内返済予定の長期借入金	171	269
未払法人税等	34	179
賞与引当金	300	400
その他	764	1,448
固定負債	2,032	2,374
長期借入金	56	112
退職給付に係る負債	1,876	2,154
長期預り金	71	71
その他	27	35
負債合計	6,241	7,366
純資産の部		
株主資本	21,303	21,356
資本金	3,274	3,274
資本剰余金	3,427	3,427
利益剰余金	15,394	15,448
自己株式	△793	△793
その他の包括利益累計額	265	75
その他有価証券評価差額金	386	319
為替換算調整勘定	32	△62
退職給付に係る調整累計額	△154	△180
純資産合計	21,568	21,432
負債純資産合計	27,810	28,799

連結損益計算書

[百万円]

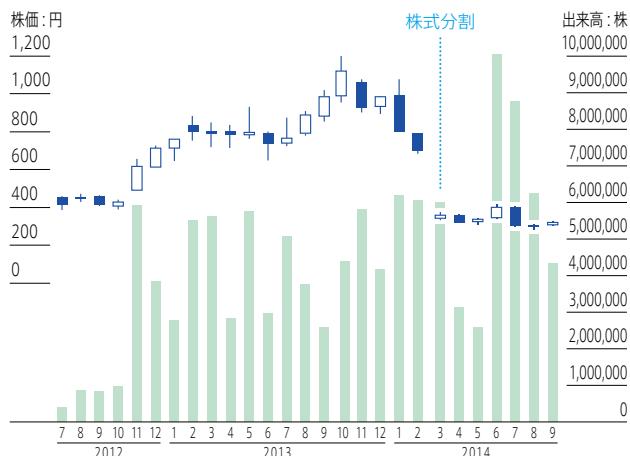
科目名称	当第2四半期(累計) (平成26年4月1日 ~9月30日)	前年同期 (平成25年4月1日 ~9月30日)
売上高	8,647	11,537
売上原価	6,495	7,310
売上総利益	2,152	4,227
販売費及び一般管理費	2,248	2,490
営業利益	△96	1,736
営業外収益	148	93
営業外費用	7	9
経常利益	44	1,819
特別利益	0	4
特別損失	22	18
税金等調整前四半期純利益	22	1,805
法人税等	21	727
少数株主損益調整前四半期純利益	0	1,078
四半期純利益	0	1,078

連結キャッシュ・フロー計算書

[百万円]

科目名称	当第2四半期(累計) (平成26年4月1日 ~9月30日)	前年同期 (平成25年4月1日 ~9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	969	873
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,229	△686
財務活動によるキャッシュ・フロー	△412	△421
現金及び現金同等物に係る換算差額	78	98
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△594	△137
現金及び現金同等物の期首残高	12,189	11,896
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,595	11,759

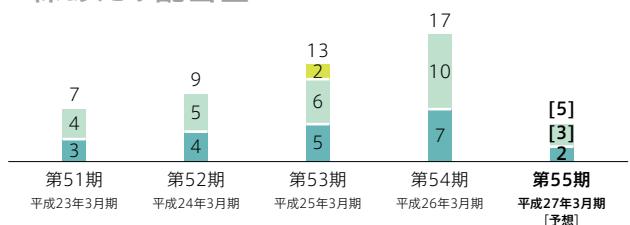
株価の推移



[注] 2014年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2014年3月の株価及び出来高は株式分割後を表示しております。

1株あたり配当金

中間 ■ 期末 ■ 記念 ■ [円]



[注] 第53期期末配当金につきましては、1株当たり普通配当金6円と創立60周年記念配当金2円を加えた8円とさせていただきます。

2014年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

配当政策

連結ベースでの業績に応じた利益配分の指標として、年間連結配当性向20%以上を基準とし、目標値は30%を掲げています。

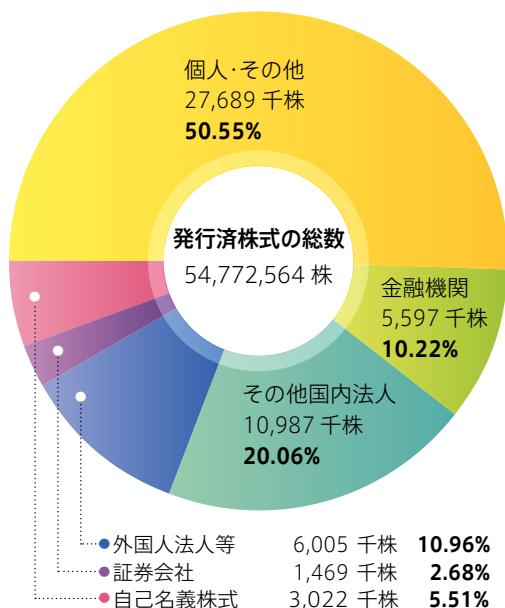
株式の概況 [平成26年9月30日現在]

発行可能株式総数 90,000,000 株

発行済株式の総数 54,772,564 株

株主数 8,526 名

所有者別持株数



大株主

株主名	持株数[千株]	持株比率[%]
きもと共栄会	5,302	10.25
株式会社精和	3,602	6.96
きもと従業員持株会	2,779	5.37
木本和伸	2,384	4.61
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	2,284	4.41
東レ株式会社	2,104	4.07
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,640	3.17
東京中小企業投資育成株式会社	1,484	2.87
泉株式会社	916	1.77
THE CHASE MANHATTAN BANK, N.A. LONDON SECS LENDING OMNIBUS ACCOUNT	729	1.41

[注] ・ 当社は自己株式を3,022千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
・ 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
・ 信託銀行等の信託業務に係る株式数については、当社として網羅的に把握することができないため、株主名簿上の名義での保有株式数を記載しております。

株主メモ

事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会

毎年6月

基準日

定時株主総会 3月31日

剰余金の配当の基準日

毎年3月31日及び9月30日

単元株式数

100株

株主名簿管理人

東京都中央区八重洲1丁目2番1号

みずほ信託銀行株式会社

特別口座の場合

●郵便物送付先

〒168-8507

東京都杉並区和泉2丁目8番4号

みずほ信託銀行株式会社証券代行部

●電話問合せ先

0120-288-324(フリーダイヤル)

●お取扱店

みずほ信託銀行株式会社

本店及び全国各支店

みずほ証券株式会社

本店及び全国各支店

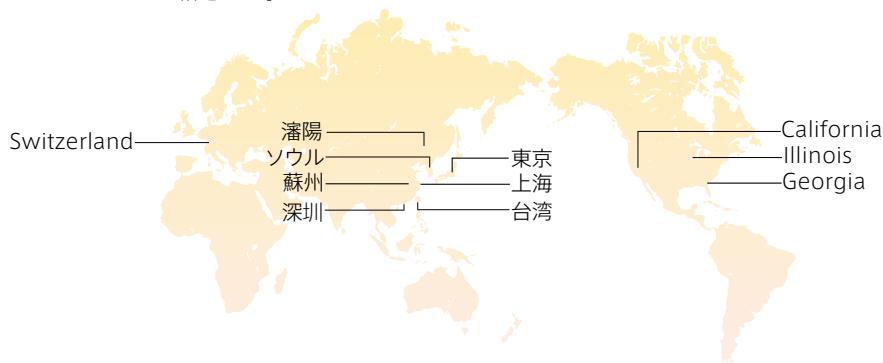
●公告掲載新聞

日本経済新聞

会社概要

株式会社きもと 株主通信
平成27年3月期[第55期]
第2四半期

名 称	株式会社きもと
所 在 地	〒338-0013 埼玉県さいたま市中央区鈴谷四丁目6番35号
設 立	昭和36年2月9日
事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none">● 電子・電気機器用、プリント回路用、光学機器用、情報記録用、環境測定用等各種フィルムの製造及び販売● コンピュータ出力用、設計用、印刷用、サイン・グラフィックス用等各種フィルム並びに用紙の製造及び販売● 航空写真及び諸種図面の撮影並びに複製に関する事業● 測量、デジタル写真測量、地図編纂、地図印刷● コンピュータ情報処理サービス並びにソフトウェアの開発及び販売● 農産物の生産、加工及び販売● 酒類の販売
従 業 員	607名(平成26年9月末)
取 引 銀 行	(株)三菱東京UFJ銀行、(株)みずほ銀行、(株)りそな銀行 他
営 業 拠 点	[国内] 札幌、仙台、筑波、新宿、立川、名古屋、大阪、福岡 [海外] 台北(台湾)、ソウル(韓国)、サンフランシスコ(米国)、蘇州(中国)、深圳(中国)
工 場	三重県(いなべ市)、茨城県(古河市)
研 究 所	埼玉県(さいたま市)
海外関連会社	KIMOTO TECH, INC.(米国)、KIMOTO AG(スイス)、瀋陽木本実業有限公司(中国)、木本新技術(上海)有限公司(中国)
役 員	代表取締役社長 木本 和伸 常務取締役 笹岡 芳典 下里 桂司 安田 茂 常勤監査役 関 功 監査役 蘆原 信 帖地 マリ子



KIMOTO